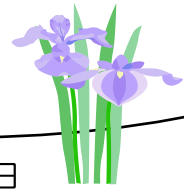


くめなん

令和3年7月19日
久米南中学校便りNO.5
校長 下山 洋



いよいよ明日から夏休み！

令和3年度1学期もコロナウイルスに影響された学期でした。しかし、生徒の皆さんはこのコロナに負けることなく元気に学校生活を送ってくれたと思います。昨年は中止になった総体も感染予防をしながら開催することができました。20日から県総体が始まります。本校からは、男子ソフトテニス個人戦、剣道男子個人戦、陸上競技に出場します。出場される選手の皆さん、応援しています「平常心」で力を発揮してください。

さて、明日から夏休みに入ります。特に3年生はここから気持ちを切り替えて、この休みの期間を利用して進路について考える時間を持って欲しいと思います。また、1・2年生の皆さんも2学期に向けてのいい準備期間となるようにしてください。

この夏休みが生徒の皆さんにとって有意義な休みとなるよう以下のことを私から提案します。

【基本的生活習慣確立のための七箇条】

- 一、朝、決まった時間に起きる。
- 一、朝食をしっかりと食べる。
- 一、歯磨きをきちんとする。
- 一、元気なあいさつをする。
- 一、家事労働を分担する。
- 一、家庭学習の時間を決め、毎日机につく。
- 一、すべきことが終わったら、早く寝る。



コロナウイルス感染には十分気を付けて新しい生活様式を意識しながら生活してください。

その気にさえなればすぐに実行できることばかりです。基本的な生活リズムが崩れると健康維持にも問題がでてきます。2学期始業式（8月27日）を元気に迎えるためにも是非実行してみてください。

この夏休みを何かの転機に！

かつて担任した生徒で体育の授業や儀式行事に出ない生徒がいた。成績は不振が続いていたが、頑張れば大学進学は可能ではないかと思っていた。しかし、それ以前に授業や学校行事の時数不足が見込まれ、このままでは卒業も危うい状況になった。思案した末に私は「一週間、掃除を真面目にやれ。」と命じた。心配していたが彼は翌週から掃除を始めた。確かに彼は変わろうとしていた。三日目に数人の女子生徒が私に「先生、〇〇君は変わったよ。」と言ってきた。彼を冷やかす者がいなかったのも良かった。その後、彼は授業をきちんと受け、体育や行事にも参加するようになった。夏前からの頑張りで勢いがあり、結局、一般入試で国立大学に入学した。今は立派な社会人として頑張っている。

人生には節目がある。転機がある。うまくつかめ。良いことをやろうとするのに人の目を気にすることは愚かだ。冷やかすは他人の足を引っ張るということだ。冷やかす者は放っておけ、味方はやがて多くなるし、冷やかす子も実は変わりたいと思っている。

元島根県立平田高校校長 長野博 先生 『平高の風』より引用

人生には転機となることが多くあります。節目・転機を大切にすることはとても重要なことだと思います。これからも、生徒の皆さんには転機は何度も訪れると思います。しかし、何度もあるからと言って変わる努力を先延ばしすることは、転機を無駄にすることにつながります。令和3年の夏という転機は1回しかありません。この夏休みが皆さんにとっていい何かの転機となるように願っています。